

目 次

I	令和5年度事業概要	
1	運営基本方針	1
2	組織・事務分掌・職員構成	4
3	当初予算	5
II	令和4年度事業概要	
1	主な取組	6
2	刊行物	7
3	運営費状況（決算）	7
III	行事実施状況	
1	展示事業	9
2	教育普及事業	10
3	他館との連携	13
IV	統計	
1	貴重資料等の整備概況	15
	(1) 貴重資料収集状況 (2) 受入資料内訳 (3) 主な新収蔵資料	
	(4) 映像資料等の整備状況	
2	利用状況	16
	(1) 企画展観覧者数 (2) 利用者数	
	(3) 職場体験・研修・見学の受入	
V	資料編	
1	文学館概要	17
2	沿革	18
3	風花随筆文学賞	19
	(1) 事業内容 (2) 実行委員会 (3) 令和4年度理事	

I 令和5年度事業概要

1 令和5年度運営基本方針

ふるさと文学館は、令和元年度に新たに策定された福井県教育振興基本計画等を踏まえ、文学を中心とした幅広い活動が可能な施設として、県立図書館、県文書館をはじめとした県内外の関係機関と連携しながら、多くの人たちがふるさと文学に親しみ、文学を楽しむことができるよう、以下の取組を進めます。

(1) 資料の収集・整理、調査・研究

福井県ゆかりの作家や福井県が舞台となった作品に関わる資料を積極的に収集・整理し、調査研究を進めます。

① 資料の調査・収集と整理

- ・福井ゆかりの作家や作家の家族、全国文学館、古書店等と連携し、資料の情報提供や総合的な資料収集に努めます。

② 情報提供と活用

- ・自館所蔵資料の分類、整理、デジタル化を進め、資料情報を図書館、文書館と統合したシステムで検索できるように整備します。
- ・これまで未展示の資料をプロローグゾーンなどで紹介し、自館所蔵資料の活用機会を増やします。

(2) 文学の魅力の発信

福井ゆかりの作家の自筆原稿や愛用品など貴重な資料を展示し、多くの人たちが広く文学者や文学作品に親しむ機会を提供します。

① 全国文学館等と連携した展示

- ・おしどり文学館協定を結んでいる吉村昭記念文学館や、全国文学館協議会との連携を図り、福井にいながらにして県外の様々な文学・作家に触れる機会を提供します。
- ・他の文学館で開催された巡回企画等を調査・誘致し、多彩な展示を行う準備を進めます。
- ・県内文芸創作グループ等との連携企画を行い、創作活動や利用者同士の交流促進の場を提供します。

② 多彩な資料を用いた展示

- ・絵本や原画、写真など子どもから大人まで家族で楽しめる展示をきっかけとして、多くの人々の来館を促進します。
- ・映像、音声資料を効果的に使い、展示室だけでなく、ホームページを活用して来館しなくても福井ゆかりの作家や福井を舞台とする作品を身近に感じられ

る展示を行います。

- ・小中学生向けの展示や資料作成、高校と連携したイベント、大学生イベント企画の参画などを通し、文学館への新たな関心を喚起します。

(3) 文学活動や交流の支援

多くの人たちが福井ゆかりの作家や文学などについて、広く深く知り、携わることができるよう、講演会や文芸創作講座などの活動を進めます。

① 図書館、文書館との三館連携

- ・三館が持つ特徴を生かした統一テーマでの展示を行い、相互に利用者の循環を図ります。
- ・文学関係団体と連携し、三館の機能・設備を活用したイベントを実施します。

② 講演会、文学ゼミ

- ・著名作家や福井ゆかりの作家による講演会や文芸創作講座、映画上映会など文学に関する多様なイベントを開催します。
- ・文芸誌の現役編集者による小説家養成講座を行い、作家を志す若者の執筆活動を支援します。

③ 情報発信

- ・HP、メルマガ、SNSなどのネットワークツールを活用し、幅広い利用者への情報発信に努めます。
- ・子ども向けパンフレットやワークシートなどを製作し、児童生徒が利用しやすい環境を整備します。

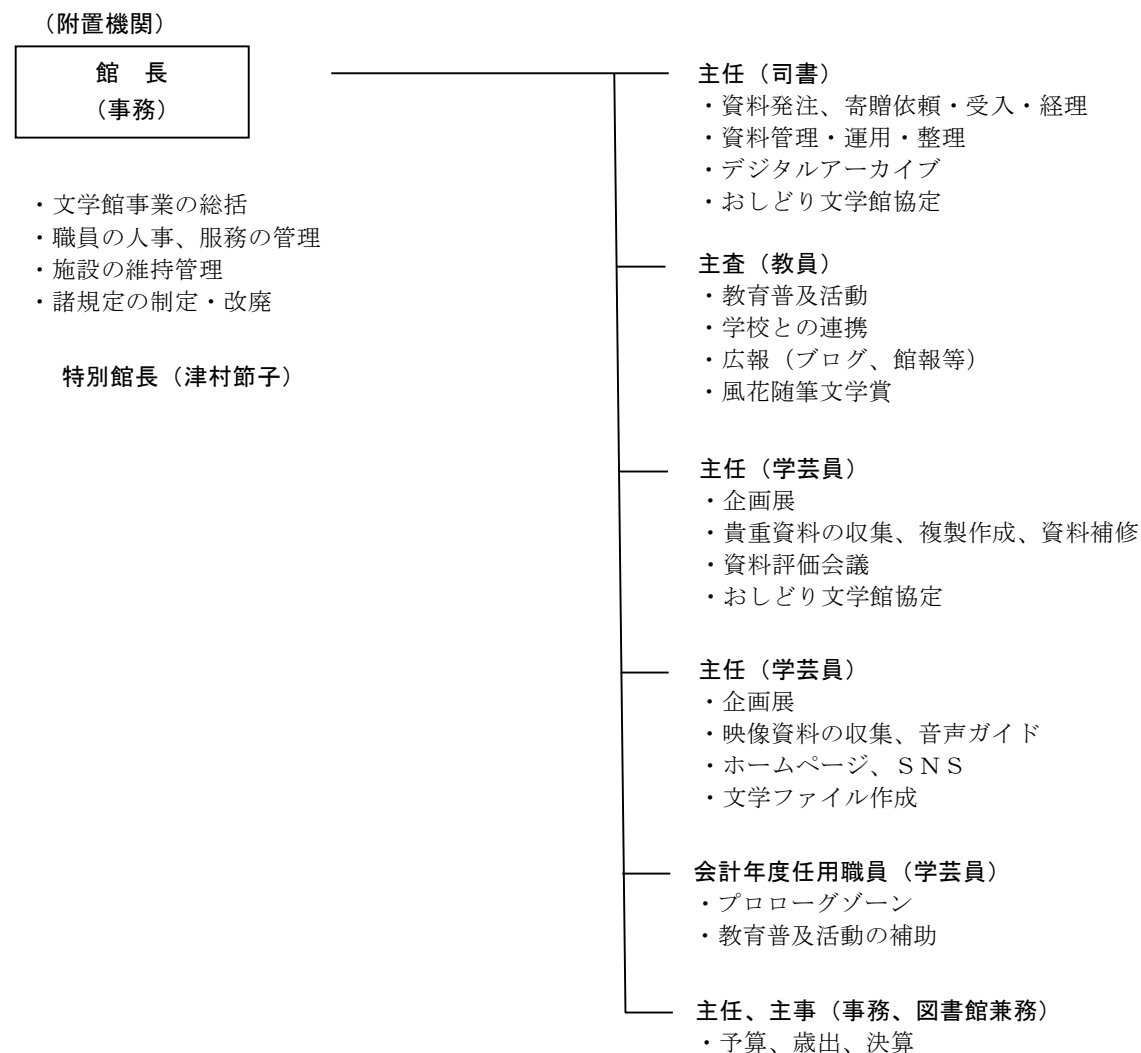
令和5年度 取組と達成目標 -ふるさと文学館-

項目	現場	挑戦	協働	創意工夫	効率化
① 資料の収集・整理、調査・研究	○貴重資料、映像資料の収集、整理 ○所蔵資料のデジタル化 ○レファレンス対応 ○デジタルアーカイブ画像公開準備 ○貴重資料収蔵庫の整備	○映像・音声資料の公開準備 ○デジタルデータを用いた収蔵資料の周知 ○ふくいゆかりの作家の調査・情報収集	○公共機関(市町等)が持つ有用資料の把握	○未展示資料や映像・音声資料の積極的な活用 ○SNSを活用した情報収集	○映像資料の有効活用 ○福井ゆかり作家資料の最新情報の把握
	●資料購入・受入 (R4:161点) ●資料デジタル化 (R4:923コマ) ●レファレンス対応 (R4:17回) ●デジタルアーカイブ画像公開件数 50件	●著作権調査資料 5点 ●ホームページ、SNSでの収蔵資料紹介 ●ふくいゆかりの作家データベースの作成・更新	●資料調査 2回	●プロローグゾーンで未展示資料を展示 20点 ●映像・音声資料のピックアップ紹介 8点 ●アンケート機能を利用した調査	●映像資料リストの作成 ●全国文学館への資料情報提供依頼 1回
② 文学の魅力の発信	○常設展・企画展の実施(プロローグ、タイムリー、代表作家、企画展)	○絵本原画や写真などを取入れた展示 ○県外の著名な作家や作品等の紹介 ○中高生向け教育・普及活動の強化	○吉村昭記念文学館との連携 ○全国文学館協議会との連携 ○図書館内カフェとの連携 ○県内文芸団体等との連携	○新しい手法を取り入れた展示 ○来館者の利用促進 ○観覧者が参加できる双方向型展示	○他館展示パネルなどの活用 ○展示パネル等の有効活用
	●展覧会 14回 (企画展2回、新収蔵展1回、特集展示9回、常設展示2回)	●福井ゆかりの作家の企画展の開催 ●大型企画展の実施 ●県外の作家作品展示 2回 ●子ども向けツール作成 2件 ●中高生向けワークショップ等イベントの開催	●おしどり文学館協定展示 1回 ●図書館内カフェとのコラボ企画 2回 ●文学の小路での文芸作品展 6回	●他館巡回展調査 2回 ●SNSを取り入れた展示 ●作品世界を表す立体展示 ●スマートフォンを利用した音声ガイドの運用 ●企画展のテーマに関するイベントの開催	●他館保有パネルの展示 2回 ●再利用を見越した展示パネル等の制作
③ 文学活動や交流の支援	○著名作家、福井ゆかり作家等の講演会 ○作家を志す若者への支援 ○SNS等を活用した展示・イベント情報発信 ○風花随筆文学賞の円滑な運営	○PR先の開拓(若年向け) ○県内文芸団体の交流	○学校との連携企画 ○三館が連携しての企画の実施	○児童生徒の来館促進 ○デジタルサイネージの活用	○来館者志向、ニーズの把握 ○効率的な広報の実施
	●講演会等 17回 ●文学ゼミ参加人数 のべ 157人 ●SNS投稿回数 280回 ●Instagramによる情報発信 80回	●新たなPR先の検討 ●文学フェスタの充実	●学校との連携展示 1回 ●三館の統一テーマによる展示 2回 ●若狭図書学習センターでの出張展示	●文学ファイル(子ども編)作成 ●サイネージ映像の更新 4回	●利用者アンケート結果の分析、活用、実施に向けた検討 ●広報物の配布計画の作成

※上段は取組項目、下段は目標 ゴシック体は令和5年度の新規項目

2 組織・事務分掌・職員構成

(令和5年4月1日現在)



	人数	うち 学芸員	うち 司書	うち 教員
館長	1			
主任	3	2	1	
主査	1			1
会計年度 任用職員	1	1		
計	6	3	1	1

兼務（図書館企画調整グループ）

主任	1
主事	1

3 令和5年度当初予算

費 目	金 額 (千円)	事 業 概 要
資 料 整 備 費	6,238	原稿等資料購入 委託（映像制作、複製作成、補修、デジタル化等）
展 示 事 業 費	12,157	報償費 委託（展示造作、デザイン等） 使用、賃借料
調 査 研 究 費	169	研修講座負担金 資料調査謝礼
教 育 普 及 費	4,158	講演会・文学ゼミ・文学講座・出前講座・文学フェスタ 講師謝礼・旅費 舞台設営経費等
ふるさと文学館利用拡大事業	341	音声ガイド収録・配信 おしどり文学館事業
管 理 運 営 費	10,768	報償費（特別館長、資料評価会議等） 受付業務委託 展示設備等メンテナンス
⑧ 貴重資料収蔵棚整備事業	4,793	収蔵棚購入 工事請負費
計	38,624	

Ⅱ 令和4年度事業概要

1 令和4年度の主な取組

(1) 展示事業の充実

開館7周年を迎えた令和4年度新収蔵品展では、三好達治の草稿「草上記」、多田裕計の原稿「幼年絵葉書」、水上勉「父と子」の挿絵原画（司修画）など新たに受入れた資料79点を初公開した。夏季企画展は、大型巡回展「角野栄子展～魔女とおばけの世界へ」を開催した。『魔女の宅急便』や40年以上続く人気シリーズ「アッチ・コッチ・ソッチの小さなおばけシリーズ」の角野栄子さんの作品世界やその軌跡を紹介。魔女への手紙のコーナーなど参加型のワークショップも実施し、角野ワールドを楽しむ夏休みの家族連れでにぎわった。秋季企画展は、萩原朔太郎没後80年を記念して全国で一斉に開催する「萩原朔太郎大全 2022」の一環として開催。日本の近代詩に新たな境地を開いた朔太郎と、師と慕った福井ゆかりの詩人三好達治について紹介した。萩原朔美氏講演会や、今年度の萩原朔太郎賞を受賞した川口晴美氏（小浜市出身）の文学講座も併せて開催した。

プロローグゾーンにおいては、「福井ゆかりの俳人 皆吉爽雨生誕 120年記念展示」、図書館・文書館との3館連携特集 鉄道開業150年記念！鉄道特集「福井の鉄道を描いた文学」など特集展示7回、「祝 谷崎由依氏京都市芸術新人賞受賞」などタイムリースポット5回を開催し、観覧者数は、61,014人となった。図書ゾーンのギャラリー文学の小路では、県外の森鷗外記念文学館、青森県近代文学館や、県内各種文化・文芸団体との連携により6回の展示を行い作品発表の場として活用された。

また、三好達治の資料のうち原稿等72点の画像を「デジタルアーカイブ福井」において公開するとともに、ホームページ上でデジタル文学館収蔵資料展「直筆資料で読む三好達治の作品」を開始した。

(2) 教育普及事業の開催

作家講演会は、夏季企画展に関連して、角野栄子氏による「旅と物語」を開催した。文学フェスタでは、作家 中島京子氏による「創作の愉しみ」と題した講演会と、編集者で書店経営の佐藤実紀代氏によるワークショップ「自分でつくる『リトルプレス』のすすめ」を実施した。秋季企画展においても、萩原朔美氏の講演会「人の故郷は土地ではないかも知れない」、県立図書館20周年記念講演会として、今村翔吾氏の「直木賞から旅に出て」を開き盛況裡に終えることができた。文学講座は、コロナで延期となっていた武藤政彦氏の「ムットーニ 創作の秘密」、川口晴美氏の萩原朔太郎賞受賞記念「小さな声に耳を澄ます」など5回開催した。文章講座は3回、創作講座は、村田浩氏の「楽しい俳句のつくり方」を含め2回開催した。その他、文学フェスタでも、県内の同人誌グループの交流促進のため、同人誌スタンプラリーやグループセッションを試行し、賑やかな文学のお祭りが戻ってきつつあった。

また、県内高校に講師を派遣するオーサートークでは、ライトノベルで高校生に人気の青柳碧人氏が高校2校を訪れ講演を行った。

(3) 資料収集・保存・公開

深田久弥の青春時代の未公開日記、水上勉の「雁の村」草稿、三好達治「乙酉即事」「もくれん」（詩幅）、多田裕計宛て石川達三発書簡、山崎朋子自筆日記などを購入した。また、愛好家の方から、津村節子氏書簡や則武三雄の書や写真、有明夏夫原作のお蔵入りとなった映画『俺たちの行進曲』の録画VHSなどの寄贈を受けた。

(4) おしどり文学館協定記念事業の開催

荒川区吉村昭記念文学館において、おしどり文学館協定記念谷口桂子氏講演会「おしどり夫婦 成功の秘密—吉村昭 津村節子」が開催された。館長が聴講、終了後に津村節子特別館長を迎えての懇談に出席した。展示については、当館では、協定特集展示「津村節子『智恵子飛ぶ』～芸術家夫婦を描いて～」を開催する一方、荒川区では、トピック展示「吉村昭と津村節子—夫婦作家の庭、思い出の草花」を開催した。また、延期となった第25回、および第26回風花随筆文学賞授賞式に、荒川区から館長らが出席し、懇談も行った。その他リモート会議を実施し、活動状況など荒川区職員との情報交換を行って交流を深めた。

2 刊行物

(1) 文学ファイル

タイトル	発行日	部数	備考
山崎朋子	令和5年3月	5,000部	A5判

(2) 広報誌

タイトル	発行日	部数	備考
福井県ふるさと文学館報 第9号	令和5年3月31日	1,500部	年刊、A5判
ふるさと文学館ふくい No. 51～55	令和4年5月～令和5年3月	毎回 2,000部	ほぼ隔月刊 A4判

(4) 作品集

タイトル	発行日	部数	備考
ふくい文学ゼミ 六期生作品集 (令和3年度受講生)	令和4年11月25日	500部	A5判

3 運営費状況 (令和4年度決算)

費目	金額(千円)	事業概要
資料整備費	5,678	原稿等資料購入 映像使用料 委託(複製作成、補修、デジタル化等)
展示事業費	10,953	通信運搬(美専車) 委託(展示造作、デザイン等) 使用、賃借料
教育普及費	5,532	講演会・文学ゼミ・文学講座・出前講座・文学フェスタ 講師謝礼・旅費 舞台設営経費等 風花随筆文学賞
ふるさと文学館利用拡大事業調査研究費	409	音声データ収録・配信 おしどり文学館事業
管理運営費	10,327	報償費(資料評価会議等)、展示保守点検 受付業務委託
計	32,899	

令和4年度 取組と達成状況 -ふるさと文学館-

項目	現場	挑戦	協働	創意工夫	効率化
① 資料の収集・整理、調査・研究	○貴重資料、映像資料の収集、整理 ○所蔵資料のデジタル化 ○レファレンス対応 ○デジタルアーカイブ画像公開準備	○映像・音声資料の公開準備 ○ デジタルデータを用いた収蔵資料の周知 ○ ふくいゆかりの作家の調査・情報収集	○公共機関(市町等)が持つ有用資料の把握	○未展示資料や映像・音声資料の積極的な活用 ○ SNSを活用した情報収集	○映像資料の有効活用 ○福井ゆかり作家資料の最新情報の把握
	●資料購入・受入 R3:541点(175点) ●資料デジタル化 R3:114点(17点923コマ) ●レファレンス対応 R3:15回(17回) ●デジタルアーカイブ画像公開件数100件(72件) 精密複製資料の展示	●著作権調査資料 5点(5点) ● ホームページ、SNSでの収蔵資料紹介「自筆資料で読む三好達治」、SNS17回 ● ふくいゆかりの作家データベースの作成・更新(30件)	●資料調査 2回(4回)	●プロローグゾーンで未展示資料を展示 10点(20点) ●映像・音声資料のピックアップ紹介 5点(9点) ● アンケート機能を利用した調査	●映像資料リストの作成 ●YouTubeリンク促進 ●全国文学館への資料情報提供依頼 1回(1回)
② 文学の魅力の発信	○常設展・企画展の実施(プロローグ、タイムリー、代表作家、企画展)	○絵本原画や写真などを取入れた展示 ○県外の著名な作家や作品等の紹介 ○ 中高生向け教育・普及活動の強化	○吉村昭記念文学館との連携 ○全国文学館協議会との連携 ○図書館内カフェとの連携 ○県内文芸団体等との連携	○新しい手法を取り入れた展示 ○来館者の利用促進 ○ 観覧者が参加できる双方向型展示 角野展 魔女へのお手紙	○他館展示パネルなどの活用 ○展示パネル等の有効活用
	●展覧会 14回(16回) (企画展2回(2回)、新収蔵展1回(2回)、特集展示9回(10回)、常設展示2回(2回))	●福井ゆかりの作家の企画展の開催 ●大型企画展の実施 ●県外の作家作品展示2回(2回) ●子ども向けツール作成2件(4件) ● 中高生向けワークショップ等イベントの開催	●おしどり文学館協定展示1回(2回) ●図書館内カフェとのコラボ企画2回(2回) ●文学の小路での文芸作品展6回(5回)	●他館巡回展調査2回(2回) ●ホームページ上でのデジタル展示、QRコードを用いた展示ガイド、メディアミックスなどの利用 ●音声ガイド(わかりやすい案内表示)の作成 8本(10本) ● 企画展のテーマに関するイベントの開催	●他館保有パネルの展示2回(2回) ●再利用を見越した展示パネル等の制作
③ 文学活動や交流の支援	○著名作家、福井ゆかり作家等の講演会 ○作家を志す若者への支援 ○SNS等を活用した展示・イベント情報発信 ○風花随筆文学賞の円滑な運営	○PR先の開拓(若年向け)	○学校との連携企画 ○三館が連携しての企画の実施	○児童生徒の来館促進 ○デジタルサイネージの活用	○来館者志向、ニーズの把握 ○効率的な広報の実施
	●講演会等 17回(17回) ●文学ゼミ参加人数のべ142人 ●SNS投稿回数130回(356回) ● Instagramによる情報発信100回(84回)	●新たなPR先の検討	●学校との連携展示1回(0回) ●三館の統一テーマによる展示2回 ●若狭図書学習センターでの出張展示「絶景を描いた文学」	●文学ファイル(子ども編)作成 ●サイネージ映像の更新4回(4回)	●利用者アンケート結果の分析、活用、実施に向けた検討 ●広報物の配布計画の作成

※上段は取組項目、下段は目標 (実績) ゴシック体は令和4年度の新規項目

III 行事实施状況

1 展示事業

(1) 企画展

会期	企画展名	観覧者数
4/24(土)～6/13(日)	新収蔵品展	6,380人
4/23(土)～6/5(日)	「新収蔵品展2022」	7,619人
7/2(土)～9/4(日)	夏季企画展「角野栄子展～魔女とおばけの世界へ～」	13,648人
10/1(土)～R4.1/9(月・祝)	秋季企画展「師・萩原朔太郎と三好達治」	17,152人
R4.3/1(水)～6/4(日)	新収蔵「津村節子展 津村節子という生き方」	4,266人 R5.3.31現在

デジタル展示

開始日	企画展名
12/1(木)～	デジタル文学館収蔵資料展「直筆資料で読む三好達治の作品」

(2) プロローグゾーン展示

①特集展示

会期	展示名
3/25(金)～6/22(水)	「福井の絶景を描いた文学」
6/24(金)～9/4(日)	「福井ゆかりの作家による児童文学・絵本」
9/6(火)～12/21(水)	「福井ゆかりの俳人 皆吉爽雨生誕120年記念展示」
9/6(火)～12/21(水)	3館連携特集 鉄道開業150年記念! 鉄道特集「福井の鉄道を描いた文学」
12/23(金)～R4.3/15(水)	「パラレルワールド・フクイー架空のふくいを描いた文学」
12/23(金)～R4.3/15(水)	「ようこそ文学館へ～2022年、福井県ふるさと文学館に来館された作家たち～」
R4.3/17(金)～6/21(水)	「出会い、別れ、旅立ちの季節—福井の春を描いた文学—」

②タイムリースポット

会期	展示名
1/26(火)～4/11(日)	ようこそふるさと文学館へ
4/16(土)～6/22(水)	加古里子没後4年「からだと健康」
10/28(金)～12/21(水)	福井県・荒川区合同特集コーナー「津村節子と吉村昭～おしどり文学館協定の歩み～」
12/23(金)～R4.3/15(水)	福井県・荒川区合同特集コーナー「津村節子『智恵子飛ぶ』～芸術家夫婦を描いて～」
R4.3/17(金)～6/21(水)	祝 谷崎由依氏京都市芸術新人賞受賞

(3) ギャラリー文学の小路展示

会期	展示名	備考
4/16(土)～6/21(火)	「鷗外が愛でた草花」パネル展示	協力:津和野町森鷗外記念館、文京区立森鷗外記念館
7/16(土)～7/22(金)	福井県小中学生写生画コンクール入賞作品展	協力:中日新聞社・日刊県民福井
12/3(土)～12/11(日)	「家族ふれあい」絵手紙コンクール入賞作品展	協力:福井市教育委員会
R5.1/15(日)～1/25(水)	比那ヶ岳俳句会作品展	協力:比那ヶ岳俳句会
R5.1/27(金)～3/21(水)	「寺山修司」パネル展	協力:青森県近代文学館
R5.3/23(木)～4/16(日)	「あなたを想う恋のうた」入賞作品展	協力:越前市万葉の里・恋のうた募集実行委員会

(4) その他

①音声ガイド

福井ゆかりの作家について著名人が語る音声ガイドを制作し、館内利用（無料）

対象作家	収録作家	備考
高見順	荒川洋治氏	H30 年度
三好達治	池澤夏樹氏	H30 年度
山川登美子	津村節子氏	R1 年度
橘曙覧	俵万智氏	R1 年度

展示資料解説の特別コンテンツを制作し音声ガイドで利用

企画展	解説資料数	期間
夏季企画展「角野栄子展～魔女とおぼけの世界へ～」	5点	7/2(土)～9/4(日)
秋季企画展「師・萩原朔太郎と三好達治」	5点	10/1(土)～R4. 1/9(月・祝)

②文学館購入雑誌等の閲覧

プロローグゾーン内くつろぎコーナーにおいて閲覧可能

「季刊文科」「近世文藝」「日本近代文学」「日本文学」「三田文学」「早稲田文学」「公募ガイド」ほか
全国の文学館発行の出版物等

2 教育普及事業

(1) 一般向けイベント

①作家講演会

日時	演題	講師	会場	参加者数
7/2(土) 14:00～15:30	「角野栄子展～魔女とおぼけの世界へ～」記念講演会「旅と物語」	角野栄子氏	多目的ホール	89人
11/6(日) 14:00～15:30	文学フェスタ講演会「創作の愉しみ」	中島京子氏	多目的ホール	77人
12/17(土) 14:00～15:30	「師・萩原朔太郎と三好達治」講演会「人の故郷は土地ではないかもしれない」	萩原朔美氏	多目的ホール	69人
R4. 2/19(日) 14:00～15:30	県立図書館移転開館 20 周年記念講演会「直木賞から旅に出て」	今村翔吾氏	多目的ホール	93人
R4. 3/5(日) 14:00～15:30	第 26 回風花随筆文学賞記念講演会「書物(ほん)の身の上」	出久根達郎氏	多目的ホール	60人

②文学講座

日時	演題	講師	会場	参加者数
4/9(土) 14:00～15:30	「ムットーニ 創作の秘密」→ 【新型コロナウイルス感染防止のため 2/27 から延期】	武藤政彦氏	多目的ホール	54人
6/25(土) 14:00～15:30	「福井、子どもの本の作家今昔！」	谷出千代子氏	多目的ホール	32人
8/21(日) 14:00～15:30	「橋をかける～物語を創る人から受けとる人へ～」	横山眞佐子氏	研修室	30人

10/8(土) 14:00～15:30	「ことばを「盗む」犀星一朔太郎、達治に触れつつ」	九里順子氏	多目的ホール	58人
12/11(日) 14:00～15:30	萩原朔太郎賞受賞記念「小さな声に耳を澄ます」	川口晴美氏	多目的ホール	52人

③文章講座（共催：風花随筆文学賞実行委員会）

日時	演題	講師	会場	参加者数
7/9(日) 14:00～15:30	第1回文章講座 「エッセイという表現～木陰で私は静かにかたる～」	張籠二三枝氏	多目的ホール	30人
9/3(土) 14:00～15:30	第2回文章講座 「楽しく書きましょう」	増永迪男氏	多目的ホール	42人
10/2(日) 14:00～15:30	第3回文章講座 「エッセイのタネと育てかた」	堀口晴正氏	多目的ホール	34人

④創作講座

日時	演題	講師	会場	参加者数
11/6(日) 10:30～12:00	文学フェスタワークショップ 「自分でつくる『リトルプレス』のすすめ～小説などの活字を中心に～」	佐藤実紀代氏	研修室	32人
11/12(土) 14:00～15:30	皆吉爽雨生誕 120年記念展示関連 「楽しい俳句のつくり方」	村田浩氏	研修室	28人

⑤映画上映会

日時	作品名	会場	参加者数
4/30(土) 14:00～14:30	キッズ文学キネマ 「こぎつねのおくりもの」	研修室	8人
5/5(木・祝) 14:00～14:30	キッズ文学キネマ こどもにんぎょう劇場「西遊記」	研修室	9人
8/11(木・祝) 13:30～15:30	夏休み文学キネマ 「銀河鉄道の夜」	多目的ホール	28人
9/25(日) 13:30～15:40	山の文学キネマ 「富士山頂」	多目的ホール	55人
R4. 1/7(土) 13:30～15:45	現代文学キネマ 「舟を編む」	多目的ホール	52人

⑥クイズラリー

期間	名称	参加者数	グッズ
4/23(土)～6/5(日)	新収蔵品展クイズラリー	199人	缶バッジ
7/2(土)～9/4(日)	夏季企画展「魔女になってお届けしよう」	2,856人	缶バッジ
10/1(土)～R4. 1/9(月・祝)	秋季企画展クイズラリー	564人	缶バッジ
R4. 3/1(水)～6/4(日)	新収蔵「津村節子展 津村節子という生き方」	150人 R5. 3. 31 現在	マグネット

*夏季企画展よりガチャガチャを使い進呈

⑦その他

日時	行事名	会場	参加者数
8/9(月・休) 11:30～12:00	図書館探検隊	展示室 映像コーナー	6人

7/31(日) 14:00～14:30	<子ども室コラボ> 魔女とおばけの読み聞かせ会	映像コーナー	15人
11/8(火)19:00～ 21:00	「ナイトライブラリー」(3館連携) 文学館企画展解説ツアー	展示室	12人

(2) 中高生向けイベント

① オーサートーク

日時	講師	会場	参加者数
12/8(木)16:10～17:30	青柳碧人氏	武生東高校	24人
12/9(金)16:00～17:30	青柳碧人氏	高志高校	65人

② ジュニア文学カフェ

日時	タイトル	講師	会場	参加者数
5/29(日) 10:30～12:00	高校生のための、作文(構成)術(共催:県高等学校文化連盟文芸部会)	森重良太氏	多目的ホール	47人

③ 出前文芸創作教室

〈詩〉

日時	講師	会場	参加者数
7/11(月)9:35～	詩人懇話会	坂井中学校	150人
7/28(木)9:00～10:00	半田信和氏	春江中学校	20人
9/14(水)9:40～11:30	西村圭子氏	鷹巣中学校	40人

〈俳句〉

日時	講師	会場	参加者数
7/6(水)10:30～11:15	中内亮玄氏	勝山高校	108人

〈短歌〉

日時	講師	会場	参加者数
7/12(火)9:25～10:10	北野よしえ氏	若狭東高校	24人

〈エッセイ〉

日時	講師	会場	参加者数
12/12(月)15:10～16:00	増永迪男氏	藤島高校	50人

(3) ふくい文学ゼミ

講師: 上田恭弘氏 (新潮社)

受講者数: 15名

日時	カリキュラム	会場
7/2(土) 10:30～14:30	講座①…小説とは何か/上達の秘訣/とりあえずのヒント 講座②…作家という職業について	研修室
8/27(土)	講座③…表記について/キャラクターの重要性	多目的ホール

10:30～14:30	講座④…合評	
10/29(土) 10:30～14:30	講座⑤…ストーリーの要点／視点について 講座⑥…合評	多目的ホール
R4. 1/21(土) 10:30～14:30	講座⑦…文章力を付ける／取材の重み 講座⑧…合評	研修室
R4. 2/18(土) 10:30～14:30	講座⑨…長編執筆の作法／新人賞について／著作権を知る 講座⑩…合評	研修室

(4) 文学フェスタ

日時	イベント名	会場	参加者数
11/6(日) 10:00～16:00	文学同人誌ブース	エントランスホール	11 団体 40 人
11/6(日) 10:30～12:00	文学フェスタワークショップ 「自分でつくる『リトルプレス』のすすめ～小説などの活字を中心に～」	研修室	32 人
11/6(日) 14:00～15:30	文学フェスタ中島京子氏講演会「創作の愉しみ」	多目的ホール	77 人
11/6(日) 13:30～15:00	同人誌グループセッション	エントランスホール	25 人
11/6(日) 9:00～18:00	同人誌スタンプラリー	エントランスホール 文学館カウンター	57 人
11/6(日) 9:00～18:00	福井の文学出版物展示コーナー	文学館前	—
11/6(日)～11/27(日)	講演会講師中島京子氏にちなんだ特別メニュー (協力：足羽福祉会)	カフェあすわの木	期間限定提供

<再掲>

3 他館との連携

(1) おしどり文学館

<展示>

会期	展示名	会場
10/28(金)～12/21(水)	福井県・荒川区合同特集コーナー 「津村節子と吉村昭～おしどり文学館協定の歩み～」	タイムリースポット
12/23(金)～R4. 3/15(水)	福井県・荒川区合同特集コーナー 「津村節子『智恵子飛ぶ』～芸術家夫婦を描いて～」	タイムリースポット

<再掲>

<交流>

イベント

日時	参加者	備考
4/24(日)	秋元ゆいの森担当課長、橋爪吉村昭記念文学館係長／柴野館長以下職員	福井県にて第 25 回風花随筆文学賞授賞式出席後、懇談会開催
11/20(日)	柴野館長／津村節子氏、吉村緑氏、山口昭男氏、谷口桂子氏、出版社関係者、公益財団法人三鷹市スポーツと文化財団学芸員、ゆいの森あらかわ館長兼図書館長、秋元館長、橋爪係長、深見学芸員	荒川区にておしどり文学館協定記念谷口桂子氏講演会を聴講後、津村先生を交えた懇談会に参加

R5. 3/5 (日)	秋元ゆいの森担当課長、橋爪吉村昭記念文学館係長／柴野館長以下職員	福井県にて第 26 回風花随筆文学賞授賞式・出久根達郎氏講演会出席後、懇談会開催
-------------	----------------------------------	--

リモート会議

日時	参加者	備考
6/2(火) 14:00～14:50	荒川区：秋元ゆいの森担当課長、橋爪吉村昭記念文学館係長、深見学芸員	Teams にて、近況報告、次年度の連携について協議
10/6(火) 14:00～14:50	福井県：柴野館長、小林主任、黒田主任、岩田主任、尾崎主任	

〈その他〉記念グッズの製作・配布

吉村昭記念文学館	津村節子『紅色のあじさい』にちなんだファイルフォルダーと越前和紙のしおり	おしどり文学館協定記念講演会（荒川区）、文学フェスタ記念講演会（福井県）にて参加者に配布
ふるさと文学館	おしどり文学館協定ロゴ入り手提げ袋	

(2) 連携展示

日時	展示名	連携先
4/16(土)～ 6/21(火)	「鷗外が愛でた草花」パネル展示	協力:津和野町森鷗外記念館、文京区立森鷗外記念館
R5. 1/27(金) ～3/21(水)	「寺山修司」パネル展	協力：青森県近代文学館

〈再掲〉

IV 統計

1 貴重資料等の整備概況

(1) 作家別貴重資料収集状況

(単位：点,冊)

	自筆資料、愛用品等			その他 (写真, 本人蔵書等)			関係者の直筆資料 (挿絵, 家族・師弟関係など)			総計		
	～R3	R4	累計	～R3	R4	累計	～R3	R4	累計	～R3	R4	累計
ふるさとゆかりの作家30人	4,434	46	4,480	12,027	34	12,061	544	27	571	17,005	107	17,112
その他	488	60	548	11	8	19	2	0	2	501	68	569
総計	4,922	106	5,028	12,038	42	12,080	546	27	573	17,506	175	17,681

※各複製含む

(2) 令和4年度受入資料内訳

(単位：点,冊)

	購 入	寄 贈		製作その他	計
		資 料	蔵 書		
ふるさとゆかりの作家30人	25	50	27	5	107
その他	6	61	1	0	68
計	31	111	28	5	175

(3) 主な新収蔵資料

①購入

(単位：点)

作家名	点 数	主な資料
中野重治	1	中野重治発野上彌恵子宛[書簡]
多田裕計	6	石川達三発多田裕計宛[書簡]
水上勉	5	「雁の村」草稿ほか[原稿]
山崎朋子	3	大畑朋子日誌ほか[自筆資料]
三好達治	4	「月ほのかなる」[書幅]ほか
皆吉爽雨	1	皆吉爽雨発多田裕計宛[書簡]
深田久弥	6	深田久弥日記第1冊～6冊[自筆資料]

②寄贈

(単位：点,冊)

作家名	点 数	主な資料
津村節子	6	「流星雨」ほか[原稿]
有明夏夫	1	映画「俺たちの行進曲」録画VHS[視聴覚資料]
則武三雄	16	「海の声というのは」[書軸]ほか
則武三雄	22	深田久弥発則武三雄宛ほか[書簡]
広部英一	1	「平安」[原稿]

(4) 映像資料等の整備状況

(単位：点)

	点数	累計	主な作品名
外部作成	3	40	日本近代文学館「声のライブラリー」吉村昭ほか
自館作成	9	95	中島京子氏講演「創作の愉しみ」ほか
計	12	135	

2 利用状況

(1) 企画展観覧者数

会 期		企画展名	観覧者数
4/23(土)～6/5(日)	37日	新収蔵品展2022	7,619人
7/2(土)～9/4(日)	59日	夏季企画展「角野栄子展～魔女とおばけの世界へ～」	13,648人
10/1(土)～R4.1/9(月・祝)	77日	秋季企画展「師・萩原朔太郎と三好達治」	17,152人
R4.3/1(水)～6/4(日)	76日	新収蔵「津村節子展 津村節子という生き方」	4,266人 R5.3.31現在

(2) 利用者数

(単位：日、人)

年度	利用者数	累計	開館日数
H26	21,642	21,642	48
H27	81,779	103,421	299
H28	61,583	165,004	298
H29	69,379	234,383	299
H30	61,910	296,293	288
R1	70,304	366,597	301
R2	46,883	413,480	265
R3	62,608	476,088	293
R4	61,014	537,102	293

(3) 職場体験・研修・見学の受入

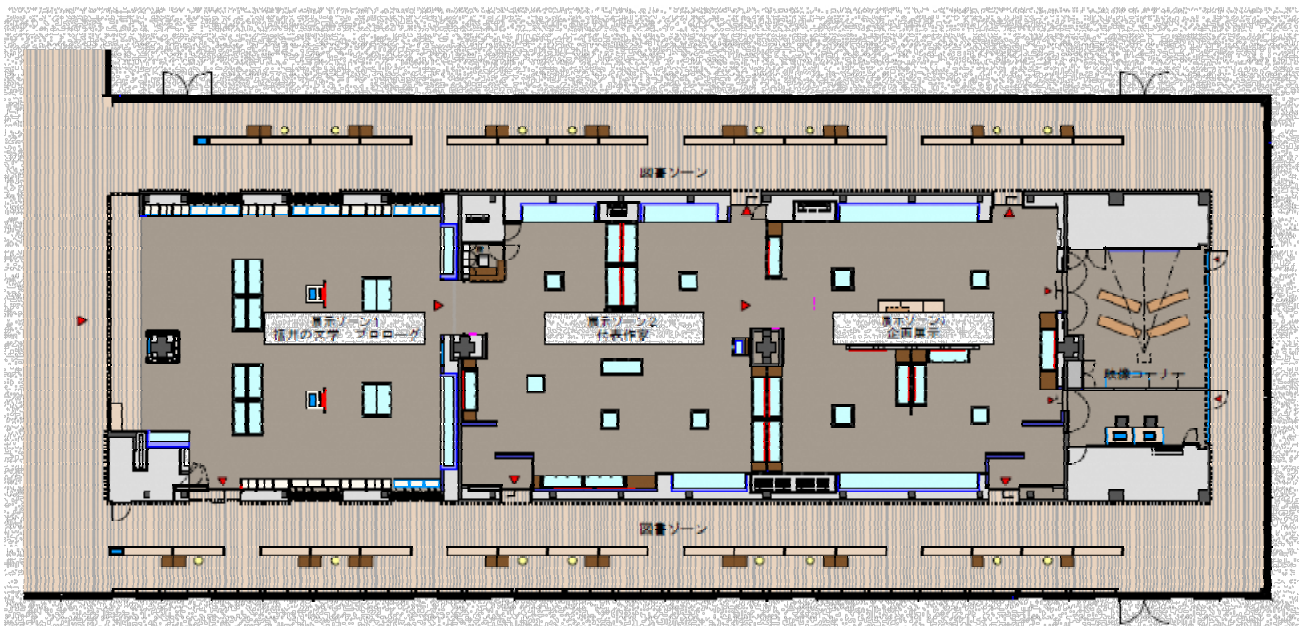
(単位：人)

団体数	人数
30	1,080

V 資料編

1 文学館概要

- (1) 延床面積 1, 020㎡ (県立図書館の郷土・環日本海コーナーを再編、改修)
- (2) 建物の特長
- ・図書館空間と融合する開放的なエントランス
 - ・展示室周囲、プロログゾーン棚突板、展示ケースに県産スギ材を使用
 - ・代表作家ゾーン、企画展ゾーンは防火区画とし、外光を遮断。可動間仕切りや、パネル交換が可能なシステム壁面を採用し、展示内容に合わせレイアウトの変更が可能
- (3) 基本理念
- ・ゆかりの作家や福井県を扱った作品に関する資料を収集、紹介し、福井の文学を後世へ伝えていく。
 - ・福井ゆかりの文学の魅力を発信し、福井県の魅力の再発見、理解を促進する。
 - ・県民が文学に親しみ、学び、交流できる機会を提供し、文学を通じた新たな文化活動を促進する。
- (4) 活動の特長
- ・図書館、文書館、文学館の3館併設のメリットを活かした機能、活動
 - ・文学に関する文字以外の映像・音声資料も合わせ、作家の実像や作品の背景等を紹介
 - ・文学を志す若い世代の創作活動支援
- (5) 各ゾーン
- ①プロログゾーン (168㎡)
福井ゆかりの作家(約30人)、福井を描いた文学作品(約400作品)、福井県文学マップ(約120ヶ所)など、福井の文学の概略を紹介(展示資料約120点)
 - ②代表作家ゾーン (153㎡)
中野重治、高見順、水上勉、三好達治、津村節子を紹介(展示資料約70点)
 - ③企画展ゾーン (147㎡)
福井ゆかりの作家をはじめ様々なテーマの企画展
 - ④映像コーナー (47㎡)
「福井を愛した文人たち」(12分)の放映、個人ブースでの映像・音声試聴(47点)
 - ⑤図書ゾーン (430㎡)
展示ゾーン周囲に書架を配置、貸出用図書、県内文学同人誌など約7,000冊を排架



2 沿革

年 度	事 項
平成 14 年度	福井県立図書館が新築移転し、「郷土文学コーナー」を新設（2月1日）
18 年度	「ふるさと文学コーナー」として拡充
22 年度	福井県教育・文化創造会議において文学館の整備が提言 福井県民の将来ビジョンで整備の必要性が謳われる
23 年度	福井新々元気宣言に、ふるさと文学館の整備が明記
24 年度	「福井ふるさと文学館（仮称）基本計画」策定（3月）
25 年度	基本設計、実施設計、建築改修工事着手
26 年度	展示工事着手 福井県ふるさと文学館開館（2月1日） 津村節子氏特別館長就任 開館記念特別展「津村節子と吉村昭 はてなき旅～夫婦作家の軌跡～」開催（2月1日～4月5日） 開館記念対談（津村節子氏、藤田宣永）開催
27 年度	日本文藝家協会との共催シンポジウムを開催（6月） 文学ゼミ開始
29 年度	全国文学館協議会展示情報部会を開催（10月27日～28日） 東京都荒川区立ゆいの森あらかわ吉村昭記念文学館と「おしどり文学館協定」を締結（11月5日） 図書館・文書館開館 15 周年、ふるさと文学館開館 3 周年記念事業を開催（1～2月） 加賀美幸子氏による朗読CD「聞いて楽しむふるさと文学」を発行（2月） 豪雪により、閉館時刻を繰り上げ（2月7～9日17時閉館）臨時休館（2月12日）
30 年度	プロログゾーン内にくつろぎコーナーを新設（7月） 台風のため、9月4日を臨時休館、9月30日を14時閉館 第73回国民体育大会（福井しあわせ元気国体）で来県された寛仁親王妃殿下が、展示室観覧（10月6日） システム更新のため、3月18日～31日を臨時休館
令和元年度	ふくい風花随筆文学賞の特別審査委員長に出久根達郎氏が就任。津村節子氏は顧問となる 台風のため、10月12日を12時閉館 開館 5 周年記念事業実施 冬季企画展「文学の食卓展」（1月～3月）、「高校生文学演劇祭」（2月）
2 年度	新型コロナウイルス感染症対策のため、3月28日～29日を臨時休館（3月） 新型コロナウイルス感染症対策のため、4月4日～5月10日を臨時休館 動画「詩人則武三雄ってどんな人？」、デジタル展示「福井の山と文学」を制作し非来館型のサービスを充実させた。（8月、2月）
3 年度	大雪のため、令和3年1月10日～11日を臨時休館 高見順の資料 67 点の画像を「デジタルアーカイブ福井」において公開（8月） 「ライブラリー・オブ・ザ・イヤー2021」優秀賞を受賞（11月）
4 年度	三好達治の資料 72 点の画像を「デジタルアーカイブ福井」において公開（12月） 図書館移転開館 20 周年記念 今村翔吾氏講演会「直木賞から旅に出て」開催（2月）

3 風花随筆文学賞

運営：風花随筆文学賞実行委員会

事務局：ふるさと文学館

平成31年4月より出久根達郎氏が特別審査委員長に、津村節子氏が顧問に就任した。

令和2年度より「ふくい」を外し「風花随筆文学賞」とした。

(1) 事業内容

【新型コロナウイルス感染防止のため延期となっていた第25回授賞式を令和4年4月24日(日)開催、記念講演は中止】

① 風花随筆文学賞 (第26回)

応募受付期間：一般の部 令和3年7月1日(金)～10月31日(月)

高校生の部 令和4年7月1日(金)～12月15日(木)

授賞式・記念講演：令和5年3月5日(日)

対象	応募作品数	一次審査選考数	入賞作品数
一般の部	1,320 編	30 編	6 編
高校生の部	2,069 編	30 編	6 編 (ほか佳作4編、奨励賞20編)
合計	3,389 編	60 編	12 編

② ふるさと風花文庫の貸出

期間	学校名等
R4.2/1～R5.3/8	丸岡高校城東分校
4/1～R5.3/31	吉村昭記念文学館
5/13～R5.3/15	鯖江高校
6/2～R5.3/23	武生商工高校

③ 文章講座 (共催：ふるさと文学館)

	日時	講師	会場	参加者数
第1回	7/9(日) 14:00～15:30	張籠二三枝氏	多目的ホール	30人
第2回	9/3(土) 14:00～15:30	増永迪男氏	多目的ホール	42人
第3回	10/2(日) 14:00～15:30	堀口晴正氏	多目的ホール	34人

<再掲>

④ 刊行物

タイトル	発行日	発行部数	備考
第25回風花随筆文学賞入賞作品集	令和4年6月	2,900部	B5判

(2) 実行委員会

① 理事会

	日時	会場
第1回	6/1(水) 13:30～14:30	県立図書館研修室
第2回	2/13(月) 16:00～17:00	県庁1101会議室

②企画・審査委員会

	日時	会場
第1回	5/18(水)10:00～11:00	県立図書館大会議室
第2回	1/31(火)13:30～14:30	県立図書館研修室

(3) 令和4年度理事

	氏名	役職名
会長	豊北 欽一	福井県教育長
理事	谷出 千代子	かこさとしふるさと絵本館長
理事	近藤 孝之	福井新聞社営業事業局長
理事	増永 迪男	企画・審査委員長
理事	山口 昭男	中央経済社常勤監査役
監事	中川 幸一	げんでんふれあい福井財団事務局長
監事	坂井 裕之	福井新聞社読者事業局次長